



【受講者の一言感想】編 紹介 (当日回収分のみ)

第6回 テーマ:「進化から見たオスとメスの配偶者選び」

講師: 長浜バイオ大学 准教授 麻生 一枝 先生

- ♥ いやいや珍しい視点からの講義で、興味深く聴き、初めて知ったことが多くあって、大いに勉強になりました。(男性74歳)
- ♥ 動物は子孫を残すのが最大の仕事。そのために生きている。自然とはそういうことだと理解した。人間は教育により社会的モラルがあり、暴走はしない。麻生先生のお話は、テンポも良く、ユーモアがあって大変よかったです。(未記入)
- ♥ とても面白くて、楽しかったです。『進化』という言葉をもう一度初めから、一歩から知りたいと改めて思いました。(女性72歳)
- ♥ 楽しく、意味深な講義ありがとうございました。自然界の生物の自然選択について学び、環境の破壊は、人類の存続も危うくし、いずれ人類は、自然選択されてしまうという事を思わされました。(女性70歳)
- ♥ 大変興味深い内容で、引き込まれました。レジメもとてもわかりやすかったです。ざっくりばらんな語り口で、話がとにかく面白かったので、今日は、用事があって早めに帰る予定でしたが、バイオカフェまで参加します。(女性66歳)
- ♥ オスとメスの行動原理の違いが、よく理解できました。奥深い内容です。(男性70歳)
- ♥ 動物行動生態学の考え方から、男女間の話(倫理観)、大変興味深く、参考になりました。(男性70歳)
- ♥ 楽しい講義、ありがとうございました。人間に置き換えると大変よくわかる話で面白かったです。もう少し深く知りたいと思いました。(女性58歳)
- ♥ 進化の定義が、遺伝、世代間交代、変化等の基本が理解できたつもりです。(男性75歳)
- ♥ テンポのよいお話と、よく通るお声、とっても楽しかったです。特に動物行動のお話と、+αのお話。Nature and Nurture, ジェンダーのお話しも、いつか機会があればお聞かせいただければ、、、と興味深く感じました。(まずは、先生の本を読ませてくださいね。)(女性48歳)
- ♥ お男がお女をやみくもに追いかけるか、性選択理論に裏打ちされているのか、成る程と納得。(男性70歳)
- ♥ 動物行動学を初めて受講した。理論的に綴られているので結構おもしろい。人間の



Nature vs. Nurture  
氏か育ちか?



種では、他の動物の領域と同じだが、社会的、宗教的なその他の観点を含めると、今の人間(日本)には適用できない。但し、(外国)地域によって、宗教に支配されない地域では動物行動学が当てはめられる。特に人間が一番近い類人猿でも当てはめられると、人間にもその様な種族があってもよいか？世代間進化の中で逆進化はないのか？草食男子⇒生存競争に負けるか？・・・。(男性75歳)

♥ ホモサピエンスも動物進化の道を辿っています。だから、動物会議が起ったら、その動物会議の一員として、動物の立場に立って環境問題に参加しなくてはなりませんね。

四本足のハイエナが「息苦しい」と言ったとして、それを聞いたホモサピエンスが、あれ！ 敏感なハイエナだな。その肺の中のヨゴレを調べてみたいなあ…と、思わなければなりませんね。で、空気を汚したのは誰だ！と探して、あれ！責任はコチラにあった！と思いつき、そのハイエナに謝らなければなりませんね。同じ動物なのですから… (休憩までの感想)



(ここから休憩以後の感想⇒) 結局は、私たちは、氏も育ちも同じような環境の中で暮らしている事を認め合って、同等に暮らし、意見の交換を交わしています。この方が豊かに議論が進むので、ああ、もう、こんな「平等」な時代が来ているのだなと実感しています。小生は元ハイエナ族の出身でした。この様なお話が聞かせてもらえるのは、やはり、時代の変化なのでしょう。地位の平等思想の進化なのでしょう。進化ですね。(男性88歳)



♥ オスとメスの違いの本質がわかっておもしろかった。>の関係が変わると変わるのも納得。我が子3人とも(30代)恋もしないで「心配の種」です。(女性67歳)

♥ 動物が大好きで、それぞれの“行動”の理由にとっても興味があります。本日の講義で、自分の遺伝子を残していくための重要な意味がよく解りました。オスとメスの違いは、絶対にありますが、それぞれの能力を認め合うことで、世界平和につながる、と、自分の中で合点がいきました。お話しの中で、ウミイグアナや魚に対して、先生が「この子たち」と言われた事に深い“愛”を感じました。(女性57歳)

♥ 性の定義についての初めてのお話でした。この事と(・染色体の組み合わせとのつながり・LGBTとのかかわり)を知りたいです。性の問題は、人間性の発達、社会のこれからのあり方と大きく関わると思います。これまでは、建前で折り合いをつけていたことが、科学や社会学の発展で本質的に解明され、人類の進化を押し進めていくのかなあと思いました。でもどれだけの時間とエネルギーが必要なのでしょう？

(女性70歳)

♥ 動物行動学については、実に理論的でよくわかりました。でも、やはり人間のこと



になると、心理や倫理、善悪がからんできて複雑化するの、脳の働きによるのでしょうか。つまり、より進化している動物だからですか？（女性72歳）

♥ たいへん おもしろかったです。オスとメス、男と女、言い方を変えても、人間も動物なんだと改めて感じました。（女性56歳）

♥ とても興味があります。奥が深い。と思いました。氏と育ち、だと思えます。外国の研究でマイナス（悪）

の意識とプラス（善）の意識、生まれ親が医者、教育者と犯罪者でその子孫の人生がちがう。などなど。（女性54歳）

♥ 不倫、浮気は♂の遺伝子がなせるわざか～。（男性70歳）

♥ 電気、機械をベースに仕事をして来ましたので、動物行動学の立場を学ぶのは、初めてであり、大変、勉強になりました。（男性77歳）

♥ 退化を引き起こしている社会情勢を懸念します。（男性69歳）

♥ 性選択理論、おもしろいです、ジェンダー論がなんとなくしっくりしなかったのが、少しスッキリしました。（女性63歳）

♥ とてもたのしい講座でした。お話を聞いて、先生の本をぜひ買いたいと思いました。（女性71歳）

♥ とても興味深く聴かせて頂きました。オスとメスの違い !! う～ん と思いながらも、うなずける所が沢山ありました。ヒトは他の動物とは違う、と思いたかったけど、やはり同じ動物でした。（男性63歳）

♥ 現在にまで残っている行動は、どれも必要なもの !! 何故 ?! と思うこともあるなあ～って思っていました、よく考えてみると、あ～ それでか～ と思うことも多々あるなと！ オスとメスと考えると人間を含め、なるほどな～と思うことばかり。先生のお話とても楽しくわかりやすかったです。有難うございました。（女性52歳）





## 【コメント】

■ バイオ講座の各先生方…解りやすく丁寧な講義がモットーですが、初めてご担当の方は、通常の講義と違う対象者に戸惑いと緊張感を話されます。第六回の麻生先生も初登場で緊張されたとのこと。しかも動物行動生態学からのお話は受講者側も初めてなのでどちらも緊張状態。…でも一言感想を拝見して、さすが先生、解りやすく展開、受講者も集中され、同じ講座から様々な感想や考えが生まれています。どちらもさすがでした。

■ 本日は蔡学長。最多7回目。双方リラックスして楽しく展開されるでしょう。

■ 次回12月は、「細胞ががんになるとき」滋賀医科大学の井上寛一先生です。7月講座のアンケートでガンについての講座要望がありました。ぜひ聴講の上、大いにご質問もしてください。先生も初登場です。お楽しみに。



■ 次年度の高齢者大学の募集案内作成も大詰め。バイオ講座は、7月アンケートでのご要望等も検討し、魅力的な講座内容を作成。同じ先生には、新たな研究成果も入れ視点を変えて展開します。遺伝子レベルで研究・開発・発見された内容を紹介し、興味深く展開していただきます。■ 一例ですが、笑いの講義…8年前のバイオ講座を担当された大平先生…今は福島県立医大の先生で、笑い与健康の研究をされ、新たな笑いの効用が解明されています。その紹介と実際に受講者の皆さんにも効果的な笑いの方法を伝授します。来年は楽しく講座を聴き、笑って健康を維持できればと遠い所からきていただける事になりました。■ 募集受付開始は、1月6日からです。今からご検討を！ ■ 前回、チラシ案内しましたが、明後日11/17(日)は13:30から公開講座「いわさきちひろの歩んだ道と絵画」を開催。ぜひご参加下さい。 【事務局・鈴木信夫】